

エーハイムオートフィーダープラス

画面操作マニュアル

- ※ 本マニュアルはデバイス（スマートフォン、タブレット等）による画面操作に特化した内容となっています。本体の設置・使用方法是商品に付属されている取扱説明書をご参照ください。
- ※ ファームウェアのバージョンによっては、本マニュアルに記載されている画面・内容・機能とは異なる場合がございます。
- ※ 本マニュアルは予告なく変更する場合があります。

内容

1. アイコンの説明	3
2. 初期設定	4~9
3. 各種設定	10
3.1 設定（全体）	10~11
3.2 概要（個別）	12
3.3 設定（個別）	12~13
3.4 複数台接続の方法	13~14
4. 給餌スケジュール	15
5. スマートコントロール	15~16
6. インジケータ－LED について	17

1. アイコンの説明

	ホーム画面
	設定
	水槽情報
	ソフトウェアの更新
	お問い合わせ
	メールアドレス登録・変更
	概要（フィーダーの状況）
	<p>給餌スケジュール</p> <p>給餌する時間、回数を設定できます。一日に複数回給餌する設定が可能です。給餌量は給餌コンテナ（エサ容器）の開口部の開き具合および画面操作による給餌コンテナの回転数設定で調整できます。</p>
	<p>スマートコントロール</p> <p>プロフェッショナル5eをペアリングさせて、給餌中に自動でフィルターの流速を遅くしたり速くしたりすることが可能です。</p>

2. 初期設定

ここからの説明は、取扱説明書の「本体無線 LAN とデバイスの接続 (Step1.)」が完了してからの画面操作方法となります。

	<p>言語を選択します。</p>
	<p>表示単位（メートル単位もしくはアメリカ慣習単位＝インチ）を選択します。</p>
	<p>水槽の名称を入力します。（任意） 続行をタップして次に進みます。</p>

	<p>フィーダーの名称を入力します。（任意） 続行をタップして次に進みます。</p>
	<p>「過剰給餌の防止」の ON/OFF を選択します。 ON にするとタッチポイントでの手動給餌を最大 1日3回までに制限できます。（チャイルドロ ック機能）</p>
	<p>「タラースケール」を押すと、エサの残量を表 示するための風袋引きゼロ校正ができます。給 餌コンテナは外した状態でおこなってくださ い。</p>
	<p>給餌時間と回転数を設定します。1日最大4回 まで給餌可能です。後からいつでも設定変更可 能です。</p>

	<p>「週に一度のランダムな断食日」のON/OFFを選択します。週に1回ランダムに断食日を作ることができます。続行をタップして次に進みます。</p>
	<p>※取扱説明書 P11 の STEP2 手順 2 と同様の内容です。合わせてご確認ください。</p> <p> をタップします。</p>
	<p>「設定」をタップします。</p>
	<p>「ネットワーク」をタップします。</p>

	<p>「使用可能なネットワークに接続」をタップします。</p>
	<p>「ネットワークを検索」をタップします。</p>
	<p>お近くの Wi-Fi ネットワークが検出されますので、選択し、ネットワークのパスワードを入力し接続します。 ※本製品は 5GHz 帯ではご使用いただけません。2.4GHz～2.5GHz の周波数の電波を選択してください。</p>
	<p>接続に成功すると最終画面下部に複数の URL が表示されます。後で必要になる URL のため、必ずメモ、スクリーンショットなどで保存してください。</p>

	<p>チェックボックスにチェックを入れ、「接続」ボタンを押してください。本体のインジケータ—LED が青点灯になるまで待ってからブラウザをいったん閉じてください。</p>
	<p>デバイス（スマートフォン、タブレット等）のネットワーク設定を開きます。 Wi-Fi の接続先候補から #EHEIM Feeder_XXXXXXXX が表示されなくなりますので、ご家庭の無線 LAN 等のネットワークを選択してください。</p>
	<p>再度インターネットブラウザを開き、前の手順で表示された 1 番目の URL http://eheimdigital.local/ または 2 番目の URL http://eheimdigital/ を入力し、これらの URL でも接続できない場合は、3 番目の URL http://192.168.●●●.△△ を入力することで操作画面を開いてください。</p> <p>ここまでの手順でネットワーク接続はすべて完了です。</p>

	<p>※お使いのデバイスの OS やブラウザによって接続できる URL が異なります。</p> <p>※使用開始後に Wi-Fi ルーターの電源が切れた場合は、先の URL を入力しても操作画面が開けなくなる場合があります。その場合はフィルター本体をリセットし、もう一度やり直してください。</p>
--	---

3. 各種設定

3.1 設定（全体）

	<p>⚙️ をタップし、接続されている全ての本体機器の設定をおこないます。</p>
	<p>設定したい項目を選択します。</p> <p>トップ画面に戻ります。</p> <p>新しい水槽や2台目以降のエーハイムデジタル機器を設定します。</p> <p>全ての本体機器の初期設定の内容変更や、工場出荷時の状態へリセットをおこないます。</p> <p>お知らせメール用のメールアドレスを設定します。</p>
	<p>「設定」より日時の設定をおこないます。給餌スケジュール機能で希望の時間に正しく作動させるために以下の手順で必ず日時の設定をおこなってください。</p>

	<p>「日時」をタップします。</p>
	<p>「日付」を設定します。</p> <p>世界の現地時間選択一覧をタップします。</p>
	<p>一覧の中から「Osaka,Sapporo,Tokyo・・・」などと表示された日本時刻を選択します。</p>
	<p>最後に「現在時刻を使用」をタップしてください。自動でデバイス（スマートフォン、タブレット等）の情報が反映されます。</p>

3.2 概要（個別）

	<p>概要をタップし、設定したい項目を選択します。</p> <p>過去の給餌状況と、先の給餌予定が表示されます。</p> <p>給餌時間と回転数が表示されます。</p>
	<p>エサの残量が表示されます。</p> <p>風袋引きゼロ校正をおこないます。給餌コンテナを外した状態でタップします。</p> <p>上記ゼロ校正をおこなった後に、エサを充填した給餌コンテナを装着し、このボタンを押してください。正しいエサの重量が計測され、残量表示が100%になります。</p> <p>給餌します。タップすると1回転します。</p>

3.3 設定（個別）

	<p>選択している個別の本体機器設定をおこないます。</p> <p>フィーダーや水槽の名称を変更します。</p>
--	--

	<p>「シンプル」または「エキスパート」のモードが設定できます。エキスパートモードでは下記の過剰給餌の防止と風袋引きゼロ校正がおこなえます。</p>
	<p>「過剰給餌の防止」の ON/OFF を選択します。ON にするとタッチポイントでの手動給餌を最大 1 日 3 回までに制限できます。（チャイルドロック機能）</p> <p>P12 と同様に風袋引きゼロ校正をおこないます。給餌コンテナを外した状態でタップしてください。P12 の方法で校正してもエサの残量表示がズレてしまう場合にはこちらでの校正もおこなってください。</p>
	<p>Wi-Fi 電波を停止します。一度停止した場合は本体機器側をリセットすることで再度 Wi-Fi 電波を飛ばし始めます。本体機器のタッチポイントに 10 秒程度、指を触れることでリセットできます。</p> <p>工場出荷時の状態へリセットします。 初期設定の内容変更をおこないます。</p>

3.4 複数台接続の方法

	<p>2 台目以降のエーハイムデジタル機器を接続する手順を解説します。追加したい本体機器はあらかじめ設置して電源を入れた状態にしておきます。ホーム画面で をタップします。</p>
--	--

	<p>「私の水槽」をタップします。</p>
	<p>「My Aquarium 1」（ご自身で設定した水槽の名称）をタップします。</p>
	<p>「新しいデバイスの追加」をタップします。</p>
	<p>追加したい本体機器を選択します。</p>
	<p>接続可能な本体機器が表示されますのでタップします。本体機器シールに記載のあるパスワードを入力して接続完了です。3 台目以降も同様の手順で追加接続します。1 台目はインジケータ LED が青に、2 台目以降は緑に点灯していれば正しく接続されています。</p>

4. 給餌スケジュール

	<p>給餌スケジュールを設定します。</p>
	<p>お好きな時間と給餌コンテナの回転数を選択し、保存をタップします。同様の方法で1日最大4回まで設定可能です。</p>
	<p>ON にすると週に1度、断食日（設定していても給餌をおこなわない日）をランダムに発生させることができます。</p>

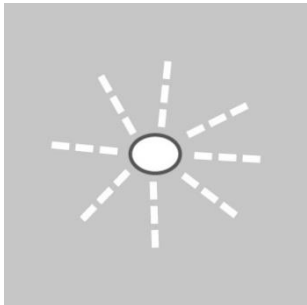
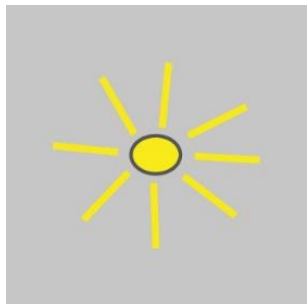
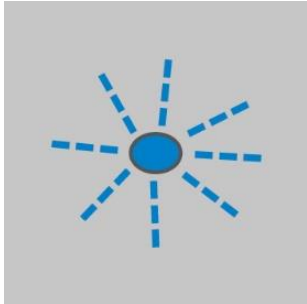
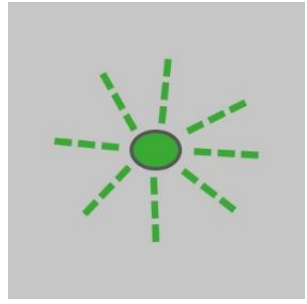
5. スマートコントロール

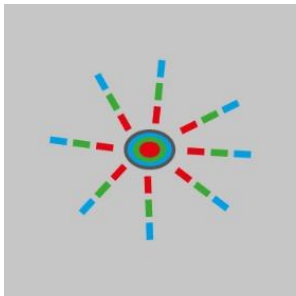
	<p>プロフェッショナル5eをペアリングさせることで、給餌中に自動でフィルターの流れを遅くしたり速くすることができます。</p>
--	--

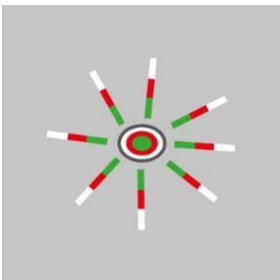
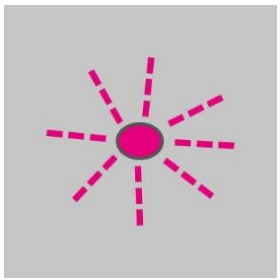
	<p>プロフェッショナル5e をタップします。</p>
	<p>ペアリングさせたいプロフェッショナル5e を選択します。</p>
	<p>追加をタップします。</p>
	<p>給餌中の流速を決め保存をタップします。</p>

6. インジケータ－LED について

	<p>【もしも接続がうまくいかなかったら】 ネットワーク接続がうまくいかなかった場合は、リセットすることで取扱説明書の STEP 1 から再度やり直すことが可能です。リセットは本体機器のタッチポイントに 10 秒程度、指を触れることでおこなわれます。インジケータ－LED が赤/緑/青に点滅し、最終的に青色の点灯になればリセット完了です。</p>
	<p>【インジケータ－LED の色に対応する本体機器の状態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●青色に点灯① 本体機器の操作準備が整い、無線 LAN によってデバイス（スマートフォン、タブレット、PC 等）との接続が可能な状態（購入時と同じ状態）を示しています。 ●青色に点灯② 正常にご家庭の無線 LAN に接続された状態（1 台目）を示しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●緑色に点灯 正常にご家庭の無線 LAN に接続された状態（2 台目以降）を示しています。

	<p>●白色に点滅</p> <p>本体機器のコントロールを開始しています。ネットワーク接続を継続していますので電源やネットワークを切らないでください。白点滅が1分以上続く場合、ネットワーク接続が失敗している可能性があります。その場合はリセットしてやり直してください。</p>
	<p>●黄色に点灯</p> <p>本体機器の無線 LAN 機能が無効になっています。再設定してください。</p>
	<p>●青色に点滅</p> <p>本体機器（1台目）が再調整中であることを示しています。タッチポイントに触れている場合は指を離すことで手動給餌が開始されます。</p>
	<p>●緑色に点滅</p> <p>本体機器（2台目以降）が再調整中であることを示しています。タッチポイントに触れている場合は指を離すことで手動給餌が開始されます。</p>

	<p>●黄色に点滅 本体機器のソフトウェアの更新中であることを示しています。</p>
	<p>●緑/黄色に点滅 コントロールユニットが全て更新されるまで待機している状態を示しています。</p>
	<p>●赤色に点灯 Web サイトが見つからないため、http://192.168.1.1/update を開き、ファームウェアをアップデートする必要があります。</p>
	<p>●赤/緑/青色に点滅 ネットワーク設定のリセット、もしくは工場出荷時の状態へのリセットをおこなっています。</p>
	<p>●白⇒赤⇒白と交互に点灯 ホームネットワークへの接続に失敗したことを示しています。（ネットワーク名が間違っている、パスワードが間違っている、無線 LAN の送受信状態が悪い等）</p>

	<p>●緑⇒赤⇒白と交互に点灯 ホームネットワークにアクセスできない状態を示しています。コントロールユニットが再起動中です。</p>
	<p>●ピンク色に点滅 検出モードが作動中であることを示しています。</p>

更新日 2023 年 3 月 7 日

お問い合わせ窓口

〒670-0073 兵庫県姫路市御立中 3-3-20

神畑養魚株式会社 姫路支店 用品部「カスタマーサポート」

TEL 079-297-5420、FAX 079-293-6467